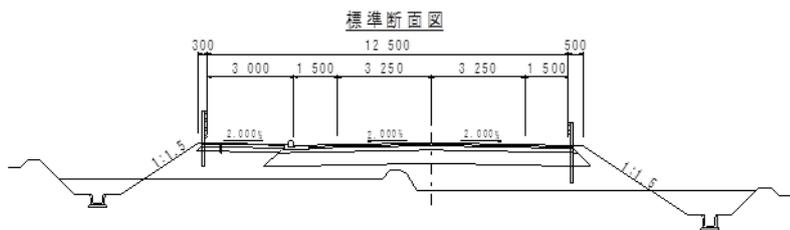
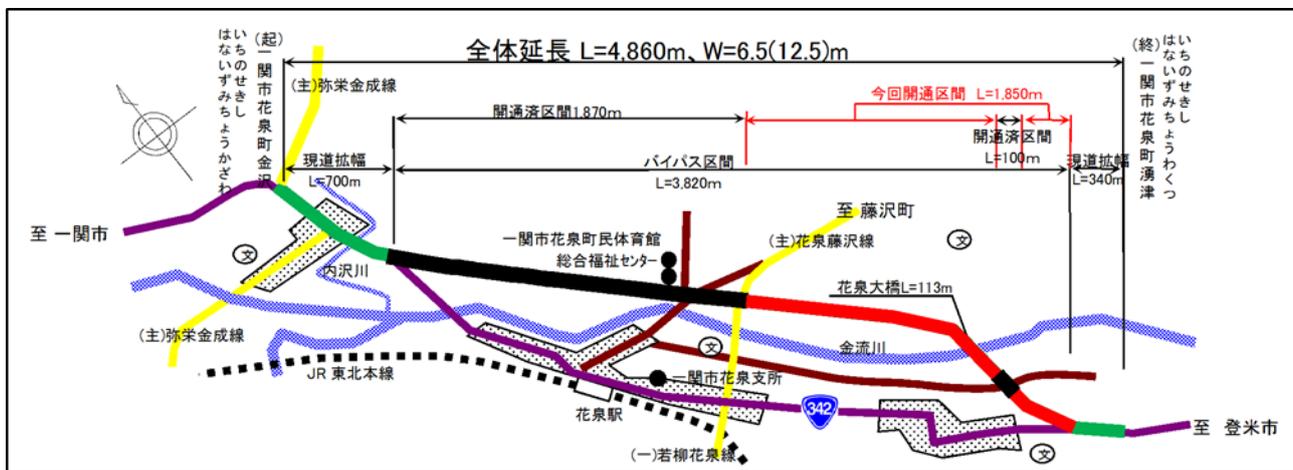


一般国道342号「花泉バイパス」全線開通

～ 東日本大震災津波からの復興を加速させる復興支援道路の開通 ～

一関土木センター
道路建設課

平成26年8月30日(土)に、「一般国道342号花泉バイパス」が全線開通しました。
平成14年度に事業着手し、平成23年度に主要地方道花泉藤沢線以北の1,870m区間の部分開通を図った後、全線開通に向けて整備を進め、事業開始から12年の歳月をかけて花泉バイパス全区間を供用することができました。



路線名：一般国道342号
区間：一関市花泉町金沢
～一関市花泉町涌津
延長：L=4,860m
幅員：W=6.5(12.5)m
設計速度：V=60km/h

【花泉大橋の橋名版揮毫】

花泉大橋の橋名版は、花泉バイパス沿道の老松小学校、涌津小学校の児童に揮毫していただいたものです。



【開通式】

県南広域振興局長の式辞に引き続き、一関市長、県議会議員等の来賓の方などによる祝辞及びテープカット、くす玉割りを行いました。その後、交通安全祈願を行い、警察車両を先頭にパレード、花泉大橋の渡り初めを行いました。開通式典終了後には、開通祝賀行事を行い、地域の方々と開通を祝いました。



テープカット及びくす玉割り



パレード



親子三代夫婦による渡初



花泉保育園児による「二桜太鼓」



「老松大黒舞」と「祝い餅つき」

【開通による効果】



現道は、県道弥栄金成線・花泉藤沢線・若柳花泉線が交わる交通の要衝でありながら、道幅が狭く歩道も無い等、クランク等の線形不良があるなど、交通安全上の課題を抱えており、バイパスの早期整備が強く望まれていました。



今回開通した「花泉バイパス」は、県が復興支援道路として位置付けた国道 342 号の一部区間であり、東日本大震災津波により被災した沿岸地域の一日も早い復興の支援に必ずつながるものと期待しています。